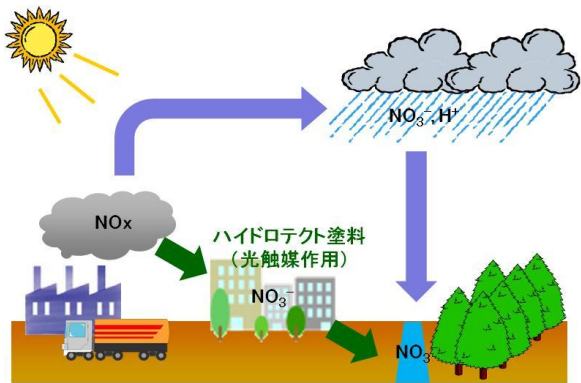


「ハイドロテクト塗料の環境影響評価」

評価実施者： TOTO株式会社 環境建材技術開発部 技術開発G 亀島 順次
総合研究所 研究企画G 高木 敏宏

●評価の目的と製品の特徴

- ・ ハイドロテクト塗料の環境性能把握
- ・ 環境影響改善に重要なプロセスの抽出

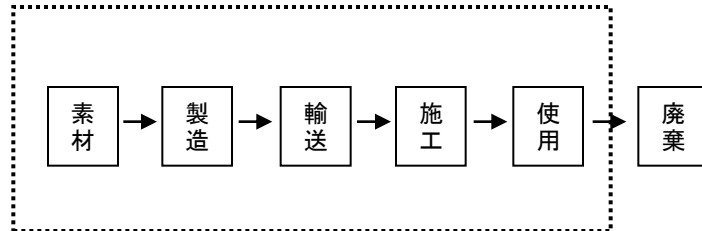


- ・ ハイドロテクト塗料の光触媒作用により、 NO_x 除去し、空気浄化効果発現
- ・ ハイドロテクト塗料の高耐久性により、一般塗料の2倍に長寿命化

●機能単位とシステム境界

機能単位 : 塗装面積1000m², 20年間使用

システム境界 : 素材, 製造, 輸送, 施工, 使用まで



●調査方法

<インベントリ分析>

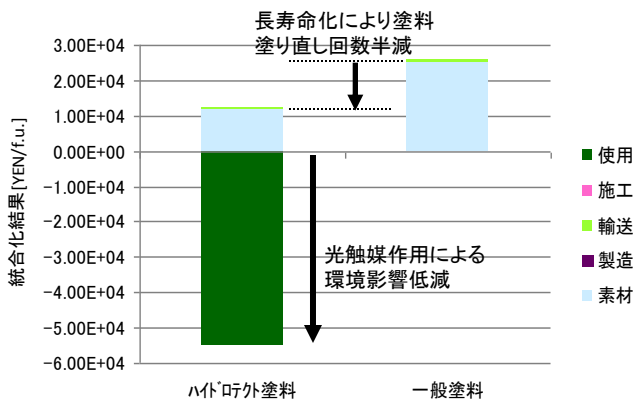
- ・ フォアグラウンドデータ: 自社調査
- ・ バックグラウンドデータ: JEMAI LCA pro
LCA日本フォーラム

<インパクト評価>

- ・ LIME2

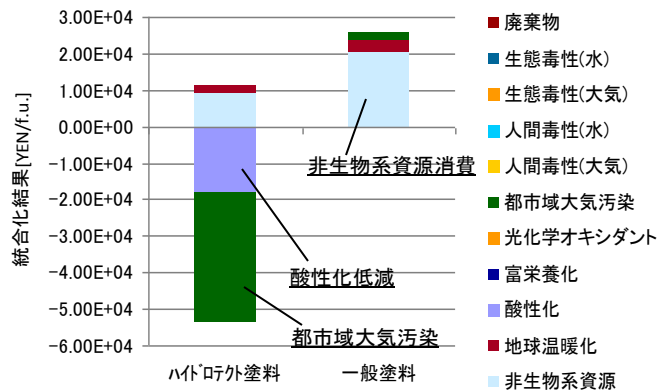
●評価結果

【統合化結果(ライフステージ別)】



- ・ ハイドロテクト塗料では、素材から施工までの影響が小さい。
- ・ ハイドロテクト塗料では、使用時の低減が大きい。

【統合化結果(カテゴリー別)】



- ・ プラスの環境影響は、非生物系資源消費が主である。
- ・ ハイドロテクト塗料では、都市域大気汚染と酸性化の影響が低減し、マイナスの結果を示す。

長寿命化により、塗料の環境影響を低減
光触媒作用の空気浄化効果により、使用時に環境改善効果がある